

PDCA(事務事業評価)チェックシート

実施年度	令和元年度		担当課名	福祉課
事務事業名	在宅福祉事業(緊急通報体制整備事業)			
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善	
<p>■目的</p> <p>ひとり暮らしの高齢者等に緊急通報装置を給付することにより、急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図り、その福祉増進に資することを目的とする。</p> <p>■成果指標(アウトカム・KPI) ※</p> <p>【目標値】</p> <p>○緊急通報装置通報処理率 100%</p> <p>【達成値(R1実績値)】</p> <p>○緊急通報装置通報処理率 100% (処理件数7件/通報件数7件)</p> <p>(参考) 緊急通報装置登録世帯数 79世帯</p>	<p>■具体的取組</p> <p>○高齢者のひとり暮らし又は高齢者のみの世帯等(希望者)への緊急通報装置の設置</p> <p>【利用対象者(市内居住者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみの世帯 昼間ひとりになる寝たきりの高齢者又はこれに準ずる高齢者を抱える世帯 <p>■インプット(投入金額等)</p> <p>委託料(システム運営経費) 4,234千円 扶助費(新規設置給付分) 83千円</p> <p>■アウトプット(数量等)</p> <p>登録世帯数 79世帯 (うち新規登録世帯数 2件)</p>	<p>■成果指標の具体的検証結果</p> <p>(インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載)</p> <p>緊急通報装置による通報に対し、迅速な対応処理が行えている。 登録件数については、介護施設への入所や転出・死亡等により機器が不用になるため、登録世帯数は減少している。</p>	<p>■検証結果を受けての具体的対応</p> <p>高齢者人口は増加しており、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心安全に暮らし続けることができるよう支援する必要がある。 当事業に限らず、他の相談事業や見守り事業との連携を強化し、平時の支援体制の強化を図っていくことで高齢者世帯等の不安を解消するとともに日常生活の安全を確保し、在宅福祉の向上を図る。</p> <p>【事務事業評価】</p> <p>D A: 拡充 D: 規模縮小 B: 現状維持 E: 廃止 C: 要改善</p> <p>■理由</p> <p>①介護サービスの拡充 ②介護施設等への入所 ③携帯電話の普及等を背景として、新規登録者が少なく、利用者数は減少傾向にあるため。</p> <p>■今後の進め方(案)</p> <p>令和2年度では、関連する他事業や他市の状況を調査研究するほか、利用者アンケートによる実態把握に努め、委託先の見直しを行う。 令和3年度の前半を目途に新たな委託先での体制を構築する。当事業は規模縮小とするが、他事業と連携することで高齢者の支援体制を移行する。 達成目標年度：令和3年度</p>	

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。